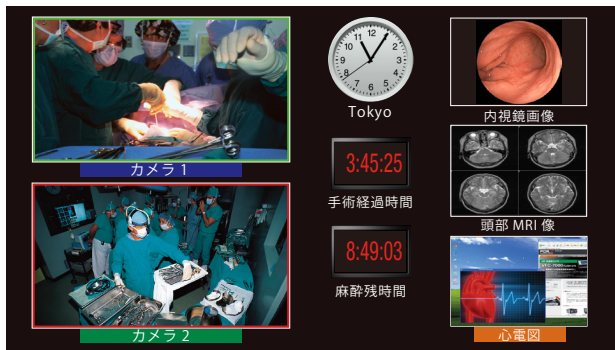


映像分野において培ってきた技術を医療現場へ

株式会社朋栄は、確かな技術とお客様の要望への対応力で世界の放送市場から評価を頂いている映像機器メーカーです。

術野カメラ映像信号と RGB 信号の混在表示装置

マルチビューワー MV-3200



画面レイアウトイメージ



MV-3200(フロントパネルオプション装着)

■混在した異なる形式のファイル信号に対応

ビデオ信号 (SD/HD 対応): 術場映像、術野映像 (内視鏡、電子顕微鏡)

RGB(VGA) 信号: 生体情報モニター等

DVI-I 信号: 電子カルテ、脳波モニター、ナビゲーション等

■最大で 32 個のビデオウィンドウを自由にレイアウト可能

手術中に必要な情報のモニター上での分割パターンや
タイトル表示など各種設定を自在に変更することができます。

■最大 4 画面に別々のレイアウトで表示

異なるレイアウトを最大 4 つの画面に出力可能なため、用途にあわせて使用することができます。更に SDI 出力 (オプション) は、
単独出力も可能です。

■モニタ毎に最大 4 個の時計表示が可能

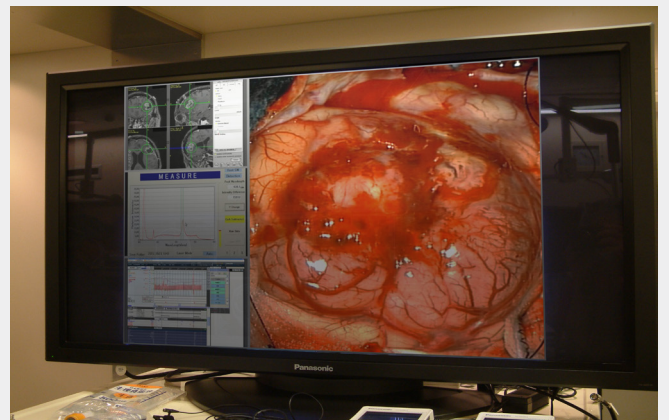
時計表示として使用しない場合は、カウントアップ / カウントダウン
タイマーや残時間タイマーとして使用することが可能なため、手術
経過時間や麻酔時間の表示等に活用できます。

導入事例のご紹介

国立がん研究センター 中央病院様では、2012 年 2 月、脳脊髄腫瘍科の手術室を一新。その際、様々な情報を一つのモニターで確認出来れば手術の効率が上がり、安全性が高まるのではないかとマルチビューワー MV-3200 を導入されました。放送機器が医療現場に置いてどのよう
に役に立っているのか? 同センター 中央病院
脳脊髄腫瘍科の成田善孝医師にお話を伺いました。



国立がん研究センター
中央病院 脳脊髄腫瘍科
医学博士 成田 善孝 先生



写真提供: 国立がん研究センター様

マルチビューワーをどのように使用していますか?

手術室に 3 台のモニターを設置しました。1 台は、
執刀医が天吊りアーム式モニターを使用し、手元
で電子カルテと測定機器類を確認するために使用
しています。残り 2 台は、手術スタッフや見学中
の医師が執刀中の映像と、それぞれに必要な
測定機器類の映像を、任意のレイアウトでモニタ
リングするために使用しています。

導入後はどのような変化がありましたか?

これまでは、顕微鏡画像を含め、脳波や心電図等
の術中に必要な映像を 4 分割モニターに表示して

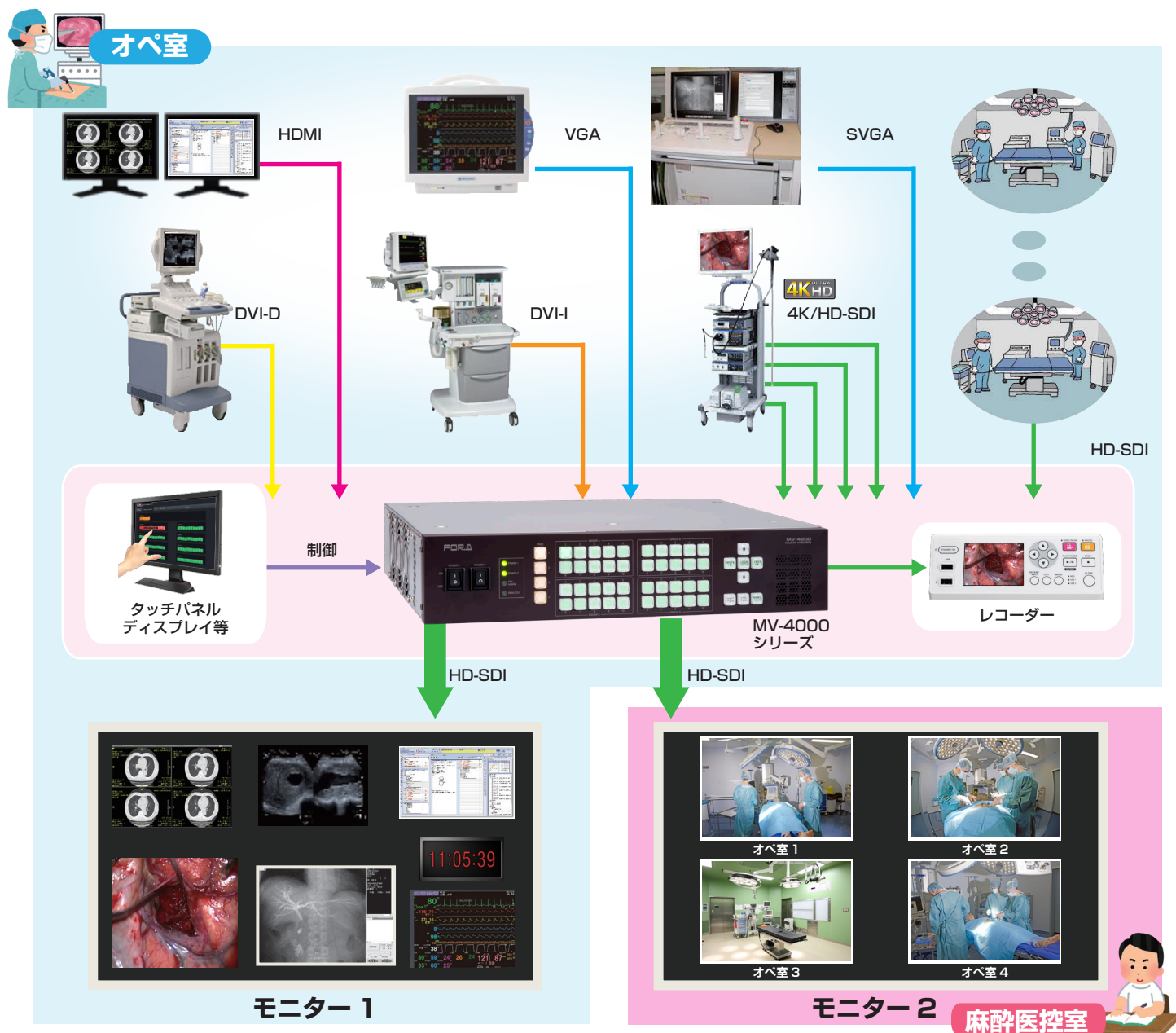
見ていました。しかし、アナログで記録したもの
を分割して表示していたため、画質の悪さが気にな
っていました。今回、マルチビューワー
MV-3200 を導入したことにより、HD-SDI
(ハイビジョンデジタル信号) で録画したものを、
高画質で再生し、表示できるようになりました。
看護師も顕微鏡画像が見やすくなり、手術状況
を把握しやすくなったと評価しています。
また、画質が上がったことで、学会発表等で
使用する映像もクオリティを向上させることが
できました。

MV-3200 の良さはどのような点ですか?

従来のアナログ映像や、最新のハイビジョン映像、
脳波や電子カルテ等、様々な信号形式に対応
している点、そして自由に画面表示をレイアウト
して切換えられる点に満足しています。マルチ
ビューワーはモニターの付属品のように考えられ
がちですが、朋栄の MV-3200 は 1 台で色々な
表示ができるので、私はメインの映像機器として
注目できていると思っています。

ありがとうございました。(インタビュー: 2012 年 10 月)

朋栄のマルチビューワーで、オペ室内の 多数ある医療機器の画像や映像を一元監視できます



マルチビューワーへの入力は、信号の種類によりコンバーターまたは変換コネクタが必要です。

MV-4000 シリーズ 術野カメラ映像信号表示装置 **4K**

- 混在した異なる形式のファイル信号に対応、4K 入出力にも対応
ビデオ信号 (HD/SD/ アナログ /HDMI 対応) : 術場映像、術野映像 (内視鏡、電子顕微鏡など)
- 最大 68 入力まで拡張可能
標準で 8 入力に対応。オプション基板の搭載により、68 入力まで対応
- 標準で 8 出力に対応
出力はモデルにより、HD-SDI 8 出力、または HD-SDI 4 出力 /HDMI 4 出力から選択可能。4K 時は 2 出力に対応
- ストリーム出力が可能
LAN 経由で出力映像をネットワーク上に転送し、院内の別の場所でもリアルタイムに進捗確認可能